

# 株主の皆様へ Top Message

世のため人のために  
常に新しい価値を生み  
続ける会社でありたいと  
考えています。



株主の皆様におかれましては、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第151期第2四半期(2015年4月1日から2015年9月30日まで)における経営環境は、国内景気は回復の兆しが見られましたが、依然として先行きが不透明な状況にあります。個人消費においては、物価上昇への懸念などにより、消費行動に停滞感が残りました。労働需給に関しても逼迫した状態が継続し、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、ヤマトグループは、長期経営計画「DAN-TOTSU経営計画2019」及び中期経営計画

「DAN-TOTSU3か年計画STEP」の達成に向け、「バリュー・ネットワーキング」構想の推進や健全な企業風土の醸成を基本戦略に定め、高品質で効率的な物流ネットワークの構築、グループ経営資源の融合による高付加価値モデルの創出に取り組みました。

業績面では、主力商品である宅急便は堅調に推移したものの、「クロネコメール便」廃止の影響を「クロネコDM便」や新サービス「宅急便コンパクト」、「ネコポス」の伸長で補うには至らず、営業収益、営業利益ともに業績予想を下回る結果となりました。

第3四半期以降も引き続き、新サー

ビスを積極的に拡販するとともに、グループ横断的に連携したソリューション営業を推進することで、収益性を高めてまいります。

ヤマトグループは、常に新しい価値を生み続けることを大切にし、株主の皆様、お客様、社会、社員、全てのステークホルダーの満足度を高め、期待に答えていけるようグループ一丸となって努力してまいります。株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年12月

代表取締役社長 社長執行役員

山内 雅喜

## 東京2020オフィシャル荷物輸送サービスパートナーに決定

ヤマトホールディングスは、2015年8月、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と契約し「オフィシャル荷物輸送サービスパートナー」となりました。当社は、大会の円滑な運営はもちろん、付加価値の高い物流で史上最高の大会の実現を支援します。また、大会を未来に向けたイノベーションの機会ととらえ、皆が暮らしやすい都市の実現に向けた流通・生活支援プラットフォームの創出や、日本を訪れる世界中の皆様が手ぶらで日本滞在を満喫できるサービスの実現に物流面から寄与し、東京2020大会の成功と豊かな社会の実現に貢献してまいります。

